

第3次府中市環境基本計画の進捗管理方法について

1 評価の手法

第3次府中市環境基本計画の評価手法としては基本方針毎に設定している成果指標及び参考指標・取組指標の達成状況から評価します。

2 指標による評価

指標による評価は、計画の計画期間である2023年度から2030年度の実績値¹の達成状況を評価します。

また、基準値²と目標値³を直線で結んだ参考線を示し、目標に向けた現在地点の達成状況を示します。併せて参考値⁴を記載し、その年に達成していることが望ましい値を示します。

なお、原則として、1つの基本方針に対して複数の指標が対応することから、基本方針ごとの総合評価については、各成果指標の評価結果を数値化し、その「平均値」により評価します。

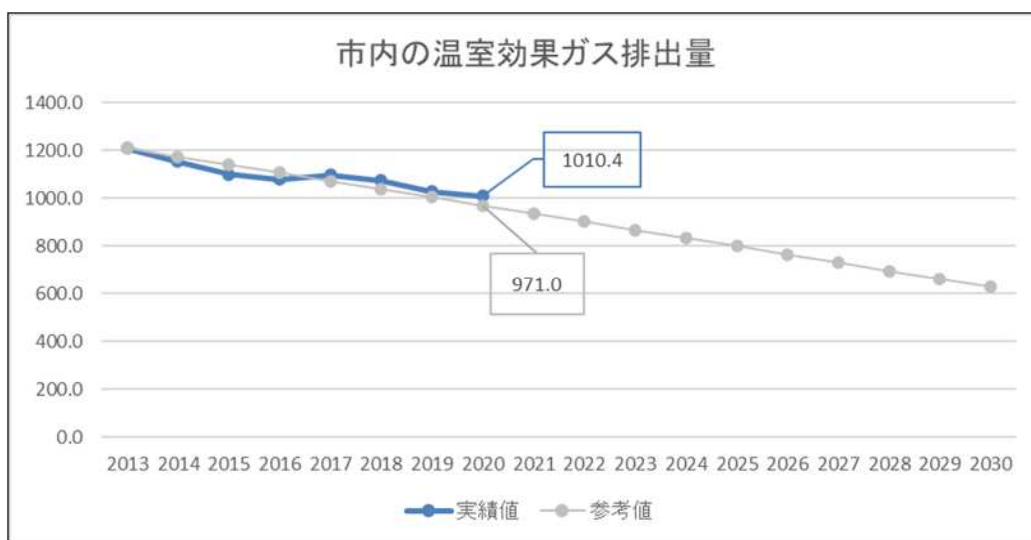


図 1 指標の評価イメージ

表 1 指標の評価の基準

指標	指標評価
目標以上に進んでいる。	S
目標どおり順調に進捗している。	A
やや遅れが生じているが概ね順調に進捗している。	B
遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい。	C

1 実績値：各指標の事業実績

3 目標値：各指標の最終目標値

2 基準値：各指標を評価するうえで基となる値

4 参考値：各年の達成していることが望ましい値

3 総合評価

成果指標による評価結果を基本に外部要因の状況を考慮し、基本方針ごとに総合評価を行います。

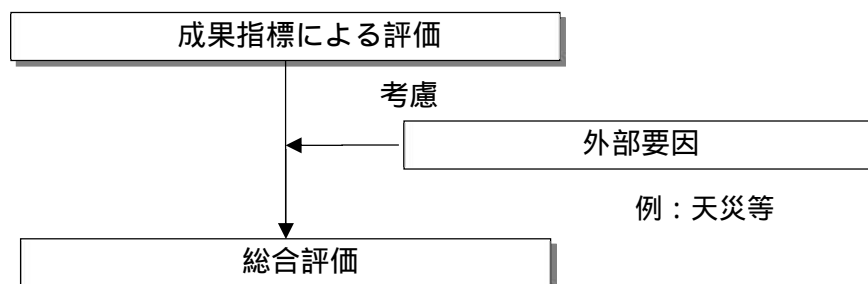


図 2 総合評価の流れ

表 2 指標が複数の場合の評価の例

成果指標	指標評価	点数化の方法		点数化	指標全体の評価方法	指標全体の評価
の測定値	S	S 評価	4 点	4	3.5 < 平均値 S	$(1+2+3+4) / 4 = 2.5$ B
の設置数	A	A 評価	3 点	3	2.5 < 平均値 3.5 A	
の補助件数	B	B 評価	2 点	2	1.5 < 平均値 2.5 B	
× × × の満足度	C	C 評価	1 点	1	平均値 1.5 C	

4 総合評価のタイミング

総合評価については、毎年実施します。

5 施策体系

基本方針1 脱炭素型のまちを目指します

【府中市地球温暖化対策地域推進計画】

重点プロジェクト1 再生可能エネルギーの導入拡大プロジェクト

重点プロジェクト2 エネルギーの地産地消と循環型まちづくりプロジェクト

1-1 省エネルギーの推進	① 省エネルギー活動の普及促進 ③ 市施設の省エネルギー化	② 省エネルギー設備の導入支援
1-2 再生可能エネルギーの導入促進	① 再生可能エネルギーの導入支援 ③ 市施設への再生可能エネルギーの導入	② エネルギーの地産地消の促進
1-3 新技術の普及促進	① 水素エネルギーの理解促進	② 新しい技術による製品の家庭への普及促進
1-4 環境に配慮したまちづくりと行動	① 脱炭素型を目指したまちづくりの推進 ③ 都市における緑地の確保	② 人と環境に優しい交通手段の構築 ④ 子どもたちへの学習機会の提供
1-5 気候変動への地域対応	① 水害対策の推進	② 熱中症対策の推進

基本方針2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します

【府中市生物多様性地域戦略】

重点プロジェクト3 武蔵台緑地における生物多様性保全プロジェクト

2-1 生物多様性の価値の浸透と社会における主流化	① 自然環境や生物多様性に関する情報の収集と発信 ③ 将来を担う子どもたちへの環境教育の充実	② 自然や生物多様性を知り、体験し、実感できる機会の創出 ④ 社会経済活動における生物多様性保全の普及促進
2-2 府中市固有の生態系と生息環境の保護と回復	① 樹林地や草地など緑環境の保全と利用 ③ 公園や農地など生き物を育む多様な空間の保全と創出	② 多摩川周辺や用水など水辺環境の保全と利用 ④ 生態系や市民の暮らしを脅かす外来種対策
2-3 生物多様性保全の担い手が生まれる仕組み作りの推進	① 生物多様性に配慮した生活様式の導入促進 ③ 市境にとらわれない広域的な連携の推進	② 主体間のつながりの創出による持続的かつ効果的な保全の展開

基本方針3 循環型のまちを目指します

3-1 ごみの発生抑制と再使用の推進	① ごみの発生抑制の推進 ③ ごみ減量への効果的な周知	② 食品ロスの削減 ④ リユースの推進
3-2 資源循環の推進	① 適正な分別ルール徹底 ③ 事業系ごみのリサイクルの推進	② 資源回収手段の利用促進
3-3 安定的・効率的なごみ処理体制の確保	① 安全で効率的な収集運搬体制の確保 ③ 不法投棄や災害廃棄物対策の推進	② 一般廃棄物処理施設の整備と運営

基本方針4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します

4-1 大気環境の保全	① 大気質の保全 ③ ダイオキシン類対策	② アスベスト対策
4-2 水環境の保全	① 多摩川及び多摩川周辺の水質保全	② 地下水量の保全及び地盤沈下の防止
4-3 土壌の環境保全や騒音振動対策、その他公害対策	① 土壌・地下水汚染の防止 ③ 化学物質等の適正管理	② 騒音・振動の防止 ④ 放射性物質対策、その他新たな公害対策
4-4 快適できれいなまちづくり	① まちの美化対策	② 安全で快適な道路環境の形成
4-5 歴史的・文化的環境の保全	① 景観の保全	② 歴史的・文化的環境の保全

基本方針5は分野横断的な取組であり、基本方針1～4を推進するものです

基本方針5 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します

5-1 事業者・教育機関との連携による新たな取組みの創出	① 大規模事業者や教育機関との連携	② 生物多様性の保全に向けた教育機関との連携
5-2 環境保全活動を支援するネットワークの構築	① 環境保全活動センターの運用	② 市民活動の支援
5-3 環境学習の推進	① 環境学習の機会の充実	② 環境学習の指導者の育成
5-4 情報発信の充実・啓発活動の推進	① 環境保全活動センターを中心とした情報の収集と発信	② 啓発活動の推進

6 総合評価の結果(2024年度(R6))

基本方針	評価(外部要因についても記載)	
【基本方針1】 脱炭素型のまちを目指します	B (指標平均:2)	新型コロナウイルス感染症からの経済の回復等の要因により、エネルギー消費量が増加したことで対前年比と比較し、温室効果ガス排出量が増加することとなった。一方で、2013年度比では減少傾向となっているため、目標である2030年の2013年度比48%削減の目標に向けて、エコハウス設備設置助成金や次世代自動車等購入費助成や事業者等との連携により、域内の再エネ導入・省エネの推進を図りながら温室効果ガスの排出削減に取り組んでいく。 最新の数値である2021年度までの削減実績を元に評価しています。
	S:0 A:0 B:3 C:0	
【基本方針2】 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します	A (指標平均:3.3)	目標通り順調に進捗しているが、市民の生物多様性に関する理解は低い状況であるため、今後も生物多様性及びその保全の必要性について、理解する機会を提供し、保全に向けた行動を実行できるよう普及啓発の推進を図る。また、東京都レッドリスト掲載種の市内確認種数10種に関しては、関係機関等に情報提供依頼するなど、広く情報収集に努めていく。
	S:1 A:2 B:0 C:0	
【基本方針3】 循環型のまちを目指します	A (指標平均:3)	今後の経済状況の変動や市民の行動変容に伴いごみの排出量に増減が生じることは考えられるものの、市民へのごみ減量・3R推進の啓発や集団回収の奨励と生ごみ処理機購入補助、民間事業者等との協働による食品ロス削減にかかる取組等を総合的に展開するとともに、最終処分場構成市と連携し埋立処分量ゼロを継続することで、着実に循環型社会の形成に寄与することができているものと考えている。
	S:0 A:2 B:0 C:0	
【基本方針4】 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します	A (指標平均:2.5)	水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率については、2023年7月の大雨の影響による水質検査の悪化により、参考値を達成することができなかった。引き続き、水質、大気、騒音・振動の測定を行い、環境基準適合率の現状把握を行う。一方、まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合は、2020年度以降毎年増加しており、順調に進捗している。今後も、府中市景観計画及び府中市景観ガイドラインに基づき、事業者との協議及び指導等をとって良好な景観の形成に努めていく。
	S:1 A:0 B:0 C:1	
【基本方針5】 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します	- (指標平均:)	
	S: A: B: C:	

7 計画の進捗状況

(1) 基本方針 1 脱炭素型のまちを目指します

【成果指標】

成果指標	基準値 (2013 年度)	目標値 (2030 年度)	目標削減割合 (2030 年度)
市内の温室効果ガス排出量	1,210.2 千 t-CO ₂	629.3 千 t- CO ₂	48%
市内のエネルギー消費量	11,935 TJ	8,354.5 TJ	30%
民生（家庭）部門のエネルギー消費量	3,787 TJ	2,726.6 TJ	28%

【参考指標・取組指標】

参考指標・取組指標	基準値 (2021 年度)	目標値 (2030 年度)
高効率給湯器（エネファーム、エコキュート）の補助件数（累計）	1,562 件	2,280 件
太陽光発電システムの補助件数（累計）	1,359 件	1,900 件
蓄電池補助件数（累計）	173 件	800 件
既設窓の断熱改修補助件数（累計）	59 件	330 件
カーボンオフセット事業 CO ₂ 吸収量 （複数年認証を含みます。）	84.2 t-CO ₂ /年	1,000 t-CO ₂ /年

(2) 基本方針 2 人と自然が調和して豊かな恵みが得られるまちを目指します

【成果指標】

成果指標	基準値	目標値
生物多様性の価値や現状を理解している市民の割合	33.7% (2020 年度)	40% (2030 年度)
生物多様性や自然環境の保全につながる行動を始めている市民の割合	-	30% (2030 年度)
東京都レッドリスト(本土部)2020 版掲載種の市内確認種数(次ページに示す指定種 10 種)	10 種 (2022 年度)	10 種 (2030 年度)
緑被率 基準値及び目標値は、関連計画である府中市緑の基本計画 2020 に基づきます。	29.52% (2015 年度)	30% (2028 年度)

【参考指標・取組指標】

参考指標・取組指標	基準値	目標値
府中水辺の楽校事業 イベント参加人数(累計)	204 人 (2019 年度)	350 人 (2030 年度)
小・中学生に対する自然環境教育の実施件数 市、府中市自然環境調査員会議、府中水辺の楽校が実施する自然環境教育に係るイベント等の件数です。	14 回 (2019 年度)	20 回 (2030 年度)
農地面積 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市総合計画に基づきます。	132 ha (2020 年度)	119 ha (2025 年度)
認定農業者数 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市総合計画に基づきます。	135 人 (2020 年度)	140 人 (2025 年度)

【指定種について】

指標「東京都レッドリスト(本土部)2020 版掲載種の市内確認種数」については、次の指定種のうち、市内で確認された種の数とします。() 内は北多摩における評価)

【植物】・レンリソウ(絶滅危惧 B 類)・キツネノカミソリ(絶滅危惧 類)・コウガイモ(絶滅危惧 B 類)

【昆虫】・マツムシ(絶滅危惧 A 類)・ヒラタクワガタ(準絶滅危惧)・ハラビロトンボ(準絶滅危惧)

【鳥類】・ヒバリ(絶滅危惧 類)・ツミ(絶滅危惧 類)

【両生類】・トウキョウダルマガエル(絶滅危惧 A 類)

【哺乳類】・ニホンアナグマ(準絶滅危惧)

(3) 基本方針 3 循環型のまちを目指します

【成果指標】

成果指標	基準値 (2021 年度)	目標値	削減割合
市民 1 人 1 日当たりの燃やすごみ排出量 一般廃棄物処理基本計画に基づきます。	1 人 1 日 410 g	1 人 1 日 356 g (2027 年度)	13%
		1 人 1 日 353g (2032 年度)	14%
最終処分場での埋立処分量 一般廃棄物処理基本計画に基づきます。	0 t	0 t を維持 (2032 年度)	

【参考指標・取組指標】

参考指標・取組指標	基準値 (2021 年度)	目標値 (2027 年度)
市民 1 人当たりの年間粗大ごみ排出量	1 人年間 8.22 kg 以下	1 人年間 7.46kg
市民 1 人 1 日当たりの収集後資源化量	1 人 1 日 72 g	1 人 1 日 83g
総資源化率	多摩地域 12 位	多摩地域 1 位

(4) 基本方針 4 安全・安心・快適に暮らせる文化的なまちを目指します

【成果指標】

成果指標	基準値 (2020 年度)	目標値 (2025 年度)
水質、大気、騒音・振動の環境基準適合率 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	84.4%	100%
まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	47.3%	60%

【参考指標・取組指標】

参考指標・取組指標	基準値 (2020 年度)	目標値
一酸化炭素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質の移動測定車 「おおぞら号」による測定	年 12 回	年 12 回 (2030 年度)
市内の狭あい道路の割合 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	9.05%	7.36% (2025 年度)
騒音・大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	11.3%	11% (2025 年度)

(5) 基本方針 5 協働・連携のための環境が整ったまちを目指します

【参考指標・取組指標】

参考指標・取組指標	基準値 (2019 年度)	目標値
府中水辺の楽校参加者延べ人数（開催回数）	204 人（5 回）	350 人 (2030 年度)
府中かんきょう塾に参加した人数（延べ人数） 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	157 人	180 人 (2025 年度)
多摩川清掃市民運動参加者数 基準値及び目標値は、上位計画である第 7 次府中市 総合計画に基づきます。	3,188 人	4,000 人 (2025 年度)